

市政を問う!

3月定例会では13人の議員が質問しました。

各会派の人数に応じて紙面の割り付けを行っています。ここでは紙面の関係でその一部を要約して掲載しています。

〔八街市ホームページに一般質問の項目を掲載してあります。〕
<http://www.city.yachimata.chiba.jp/>

誠和会

北村新司
 山本義一
 山本邦男
 古川宏史
 横田義和
 中田眞司

代表
 質問
 中田 眞司

新年度財政問題

問 平成18年度予算編成にあたり本市の財政見通しをどう考えるか。また、経費削減、合理化の具体的取り組みは如何か。

市長 三位一体改革による地方交付税及び国・県支出金の見直し等、不透明な部分に加え、歳出面では扶助費が今後も着実に増加することが見込まれます。平成18年度当初予算編成における単年度の節減合理化の目標額を2億3千万円と定め、この単年度の節減合理化の目標値との対比では、財政課の予算編成の経過で、約2億5千700万円の節減額を生み出し、目標額を約2千700万円の超過成果を上げました。

問 18年度公債費比率はどのくらいになるのか。また、県下34市との比較はどうか。

市長 平成16年度決算の本市の公債費比率は、10.2%で、16年度県内33市中では、低い方から10番目に位置しており、近隣市と比較しても佐倉13.7%、富里14.1%、四街道9.8%、成田11%と、5市中2番目に低い数値です。

問 財政運営を行う上で重要な一般財源の確保にどう取り組むのか。また、税負担の公平性の観点から滞納整理をどう強化していくのか。

市長 事務事業の見直しによる成果約2億5千700万円を新年度予算に再配分することにより、新規事業を含む各種事業の所要額を確保したほか、引き続き国・県の補助制度や交付税措置のある起債等により対応することになりました。悪質な滞納者や高額滞納者には、給与、預貯金などの調査を行い、給与債権、預貯金債権の差し押さえ及び不動産の差し押さえを実施し、収納率の向上に努めます。

子どもの安全対策

問 子どもの安全をどう守

るのか。

教育長 平成18年度は、文科省の委嘱を受けた千葉県教育委員会の事業として、地域の学校安全ボランティアに対する指導や学校の安全対策の点検を行う「スクールガードリーダー」が1名派遣され、小学校を巡回することになっています。

今後も警察と連携し、地域で子どもを守るという意識を高め、全市的な防犯活動を充実させるために人的・物的な条件整備を推進していきたいと考えています。

問 本市として防犯対策の取り組みと今後の予定事業は。

市長 警察や防犯組合等と連携した街頭啓発や自転車盗難対策指導など、防犯思想の普及活動を行っているほか、犯罪の発生を未然に防ぐとともに、歩行者の通行安全を確保するための防犯灯設置事業を積極的に進めていきます。

農業振興

問 生産者と消費者の交流活動は如何か。

市長 平成17年度の活動実績は、昨年11月に各生産者のご協力のもと、第28回産



酒米生産組合による田植体験

業まつりを開催したところ、例年同様に大勢の消費者の方に来場していただき、盛大に行われました。また、体験農業として、本市の酒米生産者で組織する酒米生産組合による田植え体験を開催したところ、102名の参加で、盛大に行われました。今後もこのような交流が活発に行われるよう支援したいと考えています。

問 地場産野菜直売所の取り組みは如何か。

市長 新たに開設する農産物直売所は、市内の農家7人により立ち上げ、現在、オープンに向けた準備を進めているところであり、農作物の出品に協力してもらえる生産者を広く募集して

総合計画



現在の八街幹部交番

問 警察署、駅前交番の設置促進は如何か。

市長 現在は八街駅北側地区土地区画整理事業に伴う八街幹部交番の移転計画が進められている状況であり、まずはそちらが優先となっています。警察署の設置に

います。市としても、出来る限り協力し、八街市の農業の活性化が図られることを期待しています。

問 農用地の有効利用と経営規模拡大を目的とした推進は如何か。

市長 各地域の特性を十分に踏まえ、農業経営基盤強化促進事業等を積極的に活用し、経営規模拡大による効率的かつ安定的な農業経営の育成に努めたいと考えています。